

防災フェスタ2012

in 名古屋テレビ塔

開催報告書

「防災フェスタ」は名古屋地域の防災関係者が一同に会し、親子連れなど一般の人たちと楽しみながら防災について学ぶイベントで、テレビ塔周辺での開催は3年目。東北3県からのゲストを招き、復興に向けての話をうかがうシンポジウムを前夜に開催。当日もゲストによるミニ討論会や歌と踊りのステージを企画しました。23の企業・団体は多彩なブース展示で防災を啓発し、来るべく東海・東南海・南海地震などの災害への備えを呼び掛けました。そして東北から県内に避難されているかた向けには、事前にお渡しした金券を使っていただけのバザーコーナーや交流コーナー「お茶っこサロン」を設けました。



プレ企画：9月28日（金）18：30～20：30

東日本大震災の『今』を考えるシンポジウム

会場・名古屋市総合社会福祉会館7階

メイン企画：9月29日（土）10：00～16：00

防災フェスタ 2012

会場・名古屋テレビ塔周辺

【主催】 特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

【共催】 なごや防災ポラネット、名古屋大学減災連携研究センター
東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや

【協力】 愛知県被災者支援センター

【特別協賛】 名古屋テレビ塔(株) 【協賛】 (株)NTTdocomo 東海支社

【後援】 内閣府（防災担当）、国土交通省中部地方整備局、愛知県、名古屋市、
愛知県社会福祉協議会、名古屋市社会福祉協議会

テレビ塔で3回目の
のフェスタ。
受付も準備万端！



こんな手作りの
防災イベントができる
のはここだけ。
恐るべし名古屋！

共催の名古屋大学
減災連携研究セン
ター長、福和先生
のあいさつなどで
開会です。

**テレビ塔下では
バザーコーナーや東北
復興応援物産展を開きました**

**バザーではシャンプー、洗剤など
の日用品や運動靴、物産展では東北
の味噌やしょう油、RSYが支援
する宮城県七ヶ浜町の皆さんの
手作り工芸品を販売しました**



東北の名産
いっぱい。
(みちのく
屋)

七ヶ浜の皆さんの
手作り工芸品で
す。(きずな工房)



交流スペース「お茶
っこサロン」では、
県外避難の皆さん
をボランティアさん
らがもてなし、相
談などに乗ってあ
げていました。

名古屋での
暮らしはいい
かですか。



チョコっと食べて
復興応援。(KIプロ
ジェクト)



いらっしゃー
い。むちゃく
ちゃ安いよ！

大槌町の工芸
「刺し子」の体
験、親子でどう
ぞ(ワークショ
ップかもめ)



テレビ塔を取り困
むように設けられ
たブースでは、22
団体・企業による多
彩な展示や体験会
が開かれました。

防災クイズ、
結構難しい
わー。





「和田会」の皆さんの福島民謡でオープニング。

防災紙芝居、始まるよー。(あいち防災リーダー会)



災害時、外国の人にはどう声を掛けますか？(名古屋国際センター)

ステージは趣向凝らして 震災の教訓と災害への備え啓発

東北3県からゲストを招いたミニシンポ、歌や踊り、紙芝居を通じて防災・減災について考えました。

前夜に続いて岩手、宮城、福島の方々から復興の課題などをお聞きしました。



すっかり司会業が板についてきた？
田口&椿コンビ



さあ隠れて！

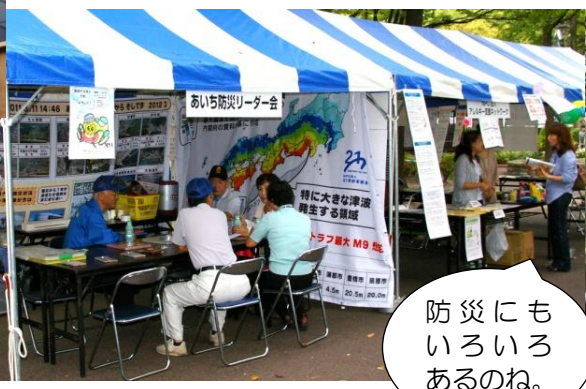
え！地震！



3分でできる防災訓練、「Shake Out」を行い、参加者が一斉に机の下に身を隠しました。

3分って結構長い…。

津波はこんな高さまで！



防災にもいろいろあるのね。





さあ皆さん、ご一緒に。(石田音人さん、加藤たかまささん)



最後は恒例の合唱
胡弓演奏家・石田音人さん作曲の「いのちを見つめて～減災への誓い」で締めくくりました。



例年になく過ごしやすい天候。ボランティアさんの協力で運営も順調でした。



ブースは初出展の企業や団体もあり、被災地の現状や災害時の食、暗闇体験などさまざまなテーマで防災を啓発してもらいました。

ボランティアの皆さん約 100 名に参加していただき、約 1,000 名の来場者がありました。
チャリティーバザーは現金売り上げ 65,000 円、募金箱への寄付金は 29,941 円に達しました。すべて東日本大震災の被災者支援活動支援金として使わせていただきます。ご協力くださった関係者の皆さんに厚く御礼申し上げます。

